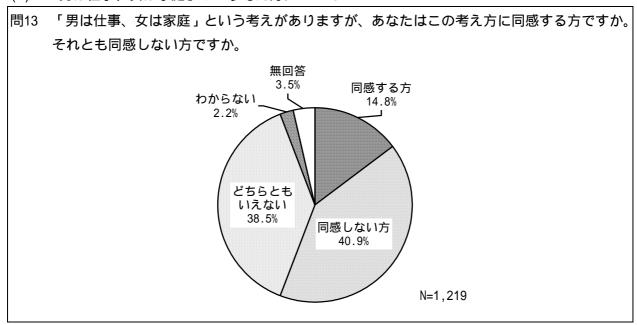
## 3 男女共同参画について

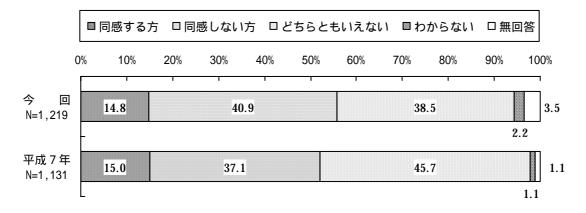
## (1) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

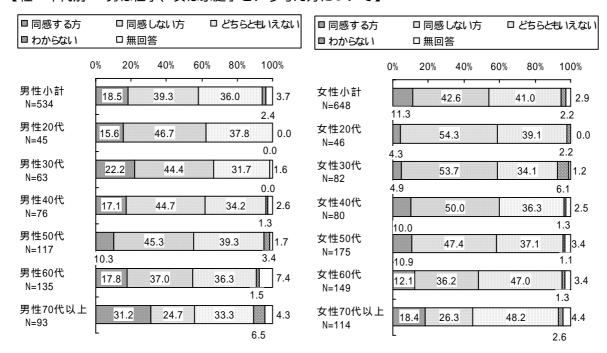


「男は仕事、女は家庭」という考え方に対しては、「同感する方」が14.8%、「同感しない方」が40.9%、「どちらともいえない」が38.5%、「わからない」が2.2%となり、「同感しない」人と「どちらともいえない」人が拮抗している。

平成7年の調査結果と比較してみると「同感する方」「同感しない方」ともに大きな変化はみられないが、「どちらともいえない」は7.2ポイント(平成7年:45.7% 今回:38.5%)減少している。

## 【「男は仕事、女は家庭」という考え方について 経年比較】





【性・年代別 「男は仕事、女は家庭」という考え方について】

性・年代別にみると、「同感する方」は男女ともに70代以上で高くなっており、特に男性では31.2%を占めている。一方、「同感しない方」は女性が42.6%と高く、特に20代で54.3%、30代で53.7%、40代で50.0%と半数以上を占めている。